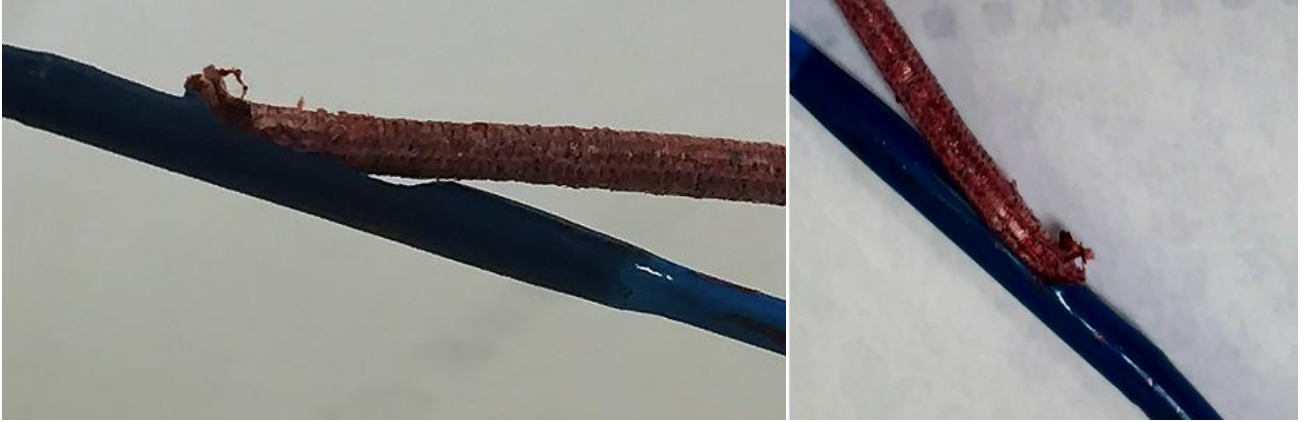


サイドホールカテーテル「リキシ」使用の注意喚起。

① バイアバン スタック症例



SFAの狭窄症例で、バイアバン先端部の抵抗で難渋時、バイアバンの押し引き実施時、サイドホールカテのプロキシ側孔部での擦れで、バイアバンが崩れスタックした症例です。外科的カットダウンにより抜去実施。

② カuttingバルーンのラブチャー症例

カuttingバルーンの5mm、6mmは、リラップ径が大きい為、収納時抵抗で、サイドホールカテーテル側孔部とカuttingバルーンの擦れによりバルーンラブチャーを高い確率で起こします。

下記3点は、サイドホールカテーテルによる使用は、上記の状況となる可能性が有ります。下記デバイスを使用される場合は、シースの交換して頂くなど、注意喚起をさせていただきます。

- ・バイアバン6Fr
- ・カuttingバルーン5mm
- ・カuttingバルーン6mm

株式会社カテラ
東京都台東区浅草4-38-1
TEL 03(5808)3988